

科目名 (Eng)	確率統計学演習 (Exercises in Statistics)								
担当教員	松本 行真								
対象学年等	学科・専攻 コミュニケーション情報学科	学年 5	授業期間 通年	区分 必修	単位数 2	時間数 (60)	分野 専門	形態 B	学修単位科目
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応 : (B-1), (B-4), (D-2), (D-3), (D-4). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応 : 2). JABEE基準1(1)との対応 : c, d(1), d(2), d(3), d(4), g JABEE推奨科目								
授業の概要と方針	社会調査の企画、サンプリングから結果の分析に至る全プロセスについて学び、仮説の検証方法についても学習する。								
到達目標	①現代社会の諸現象について理解できる。 ②適切な情報源から情報の収集が出来る。 ③情報の内容を識別・蓄積・整理できる。 ④問題点と解決法を示せる能力を習得する。								
授業計画									
週	授業項目	理解すべき内容						事前学習	
前期	1 イントロダクション	授業の進め方							
	2 社会調査の実際	社会調査とは						提示課題の作成（以下同）	
	3	報告書の読み方							
	4 調査テーマの探索	調査テーマの決め方							
	5 調査テーマの発表								
	6 調査内容の検討	調査課題の検討方法							
	7	調査課題の決定							
	8	調査仮説の検討							
	9	調査仮説の決定							
	10	調査項目の検討							
	11	調査項目の決定							
	12 調査企画の発表	調査企画の作成方法							
	13 調査票作成	調査項目から調査票を作成する							
	14								
	15 プレ調査実施（実査）	調査の実施方法とデータ入力のやり方							
後期	16 調査結果の分析	調査結果の読み方							
	17								
	18 プレ調査結果による調査企画再検討	調査企画の作成方法							
	19								
	20 調査票作成	質問紙の作成方法							
	21								
	22 本調査実施、集計ソフトの使い方、データ入力	集計・分析のやり方、GT表の作り方							
	23								
	24								
	25 GT表報告会								
	26 報告書構成案の検討と集計・分析	報告書構成作成とデータの見方							
	27								
	28								
	29 報告書作成								
	30 最終報告会								
試験について	前期期末試験（50分）、後期期末試験（50分）を実施する。 再試験受験の条件：全ての課題を所定の日時までに提出してあること。								
評価方法	定期試験の成績を70%、課題を30%として総合的に評価する。								
教科書	『ガイドブック社会調査 第2版』、森岡清志、日本評論社								
参考書	①『社会調査ハンドブック』、飽戸弘、日本経済新聞社 ②『マーケティング・サイエンス入門』、古川・守口・阿部、有斐閣アルマ								
関連科目	確率統計学								
履修上の注意	統計に関する数学的な基礎的な知識は各自復習しておくこと。チームで調査を進めていくので、協力体制を構築するように努めること。								